

地区別懇談会の開催結果の概要

1) 開催の趣旨・目的

地区別懇談会は、次の目的により実施した。

景観計画策定の周知を行うこと

景観に関する町民の意向を直接把握すること

景観形成の目標や方針、実現化の施策の検討素材とすること

2) 町民への開催周知の方法

町広報紙にチラシを織り込み全戸に配布した。また、区長会において懇談会への参加・協力を呼びかけた。

3) 開催結果の概要

開催日時	場所	出席者
9月24日 19:00-21:00	南部公民館	13名
9月27日 17:30-19:15	東部公民館	23名
9月28日 17:30-19:15	中央公民館	23名
9月30日 19:00-20:50	北部公民館	20名
合計	4地区	79名

4) 開催方法(次第)

1. 景観計画の策定の趣旨、目的について(10分 - スライド)
2. 板倉町の景観について(15分 - スライド)
3. アンケートのご記入(5分) - 別紙参照
4. 意見交換(50分)

地区別懇談会の開催風景

事務局からの説明の様子



意見交換の様子



意見のまとめ



意見のまとめ（全地区）

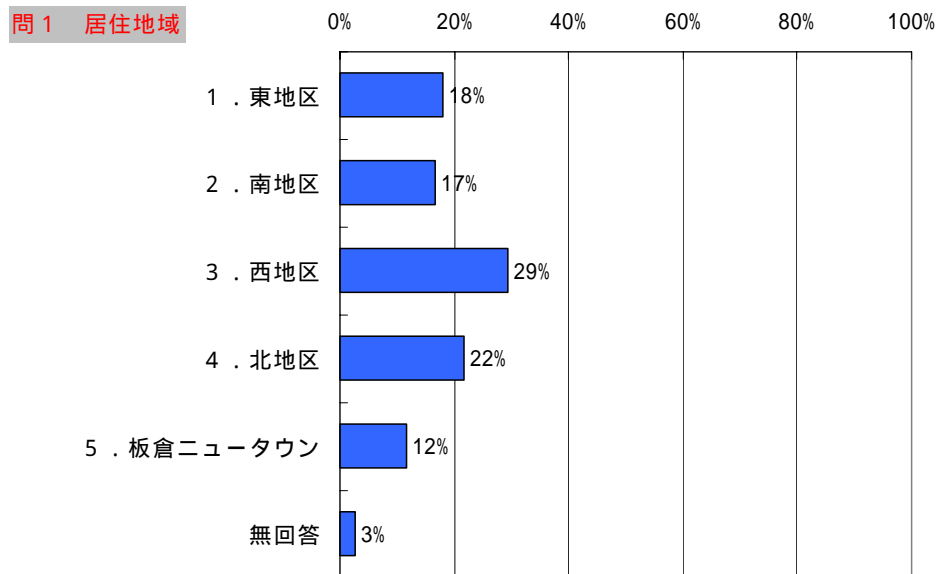
アンケート項目

- 問1 現在のお住まいの地域をお答えください。
- 問2 現在の場所のお住まいの期間をお答え下さい。
- 問3 板倉町（あるいはお住まいの地域）で、次の景観の好みを聞かせて下さい。
- 問4 今後、守りたい、残したい資源は何ですか？
- 問5 板倉町（あるいはお住まいの地域）の景観で気になること（今後改善していきたいこと）は何ですか？
- 問6 ご自分で、景観や生活環境に取り組まれていること、配慮されていることをご記入下さい。
- 問7 今後の景観形成に必要なことは何だと思えますか？

アンケート結果

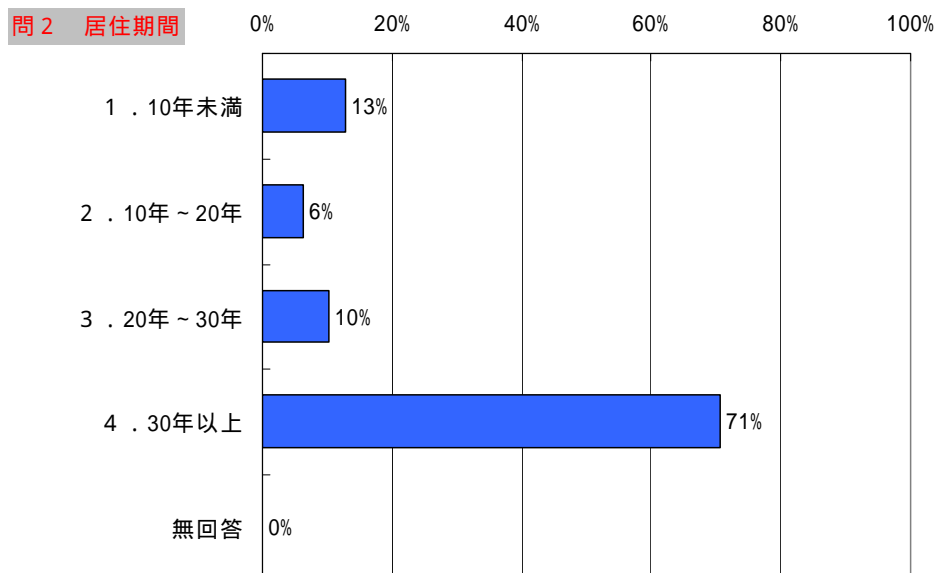
- 問1 現在のお住まいの地域をお答えください。

参加者の居住地は、西地区が最も多く、全体の約3割を占めており、次いで北地区が多かった。



問2 現在の場所のお住まいの期間をお答え下さい。

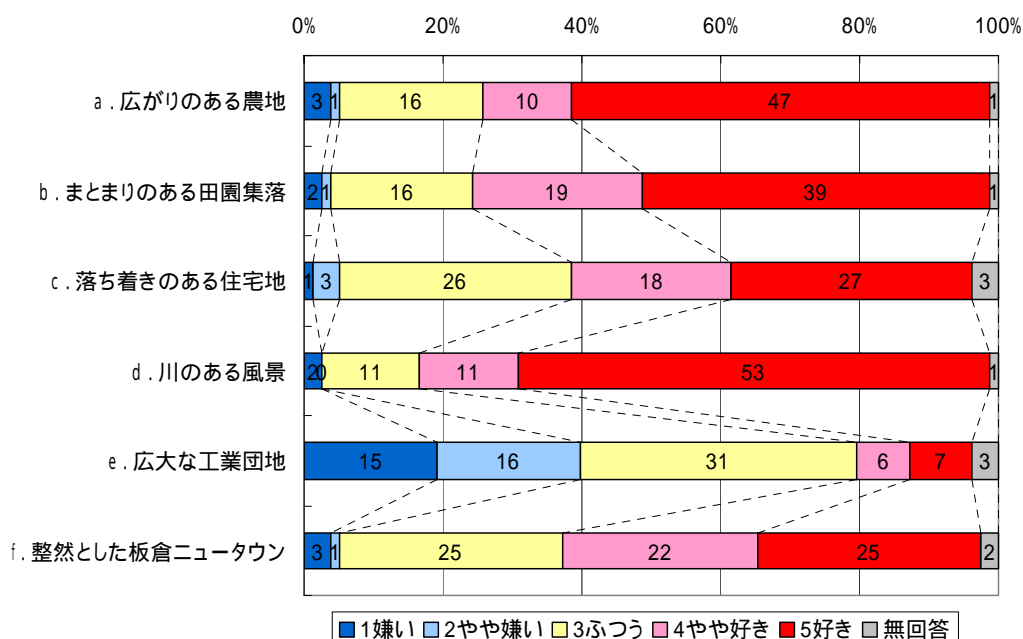
参加者の居住期間は、30年以上が全体の約7割を占めており、長年町内に住んでいる方が多いことがわかる。次いで多いのが10年未満であり、殆どがニュータウン在住の方であると推測される。



問3 板倉町（あるいはお住まいの地域）で、次の景観の好みを聞かせて下さい。

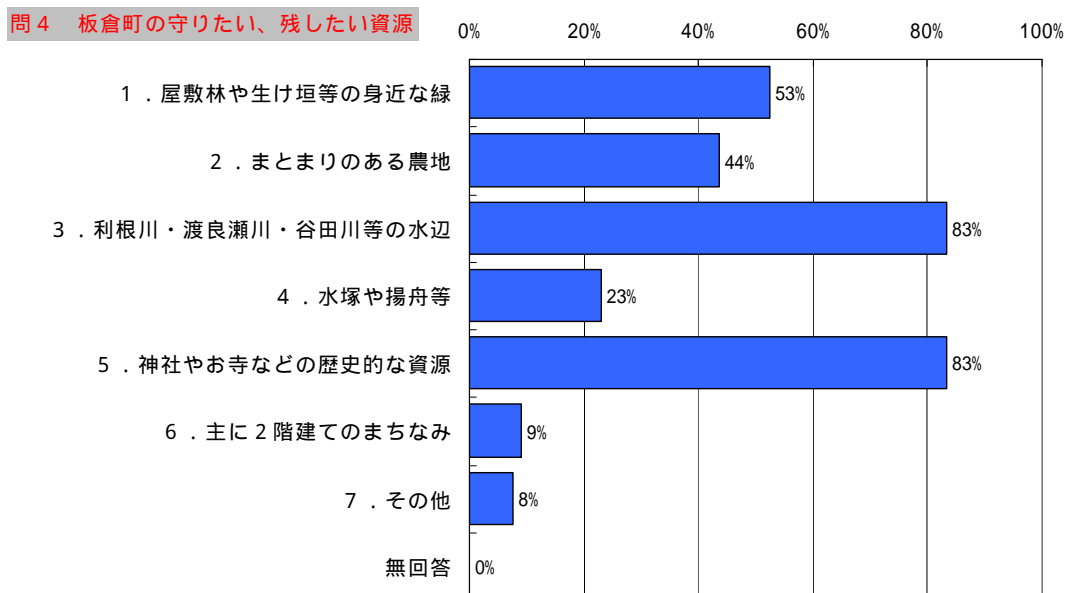
景観の好みについて、やや好き、好きという回答は「川のある風景」に最も多く、次いで「まとまりのある田園集落」、「広がりのある農地」に多い。一方、やや嫌い、嫌いという回答は「広大な工業団地」に最も多く、他の項目に対する嫌いという回答は極端に少ない。

問3 板倉町における景観の好み



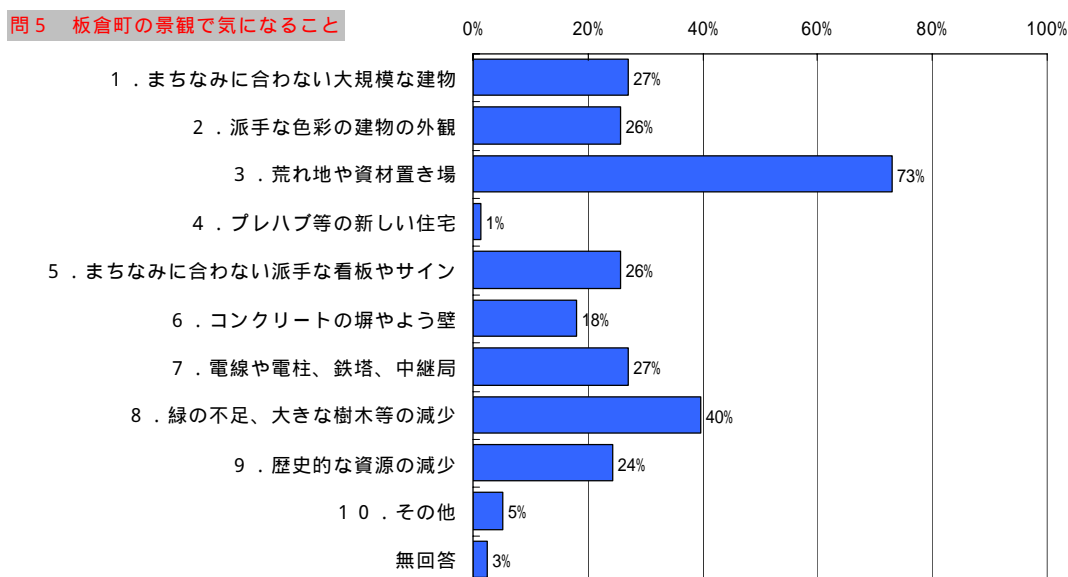
問4 今後、守りたい、残したい資源は何ですか？

守りたい、残したい資源については、「利根川・渡良瀬川・谷田川等の水辺」、「神社やお寺などの歴史的な資源」に最も多い。次いで、「屋敷林や生け垣等の身近な緑」、「まとまりのある農地」に多い。つまり、歴史的な建物や、緑、水辺を守りたいと感じている。



問5 板倉町（あるいはお住まいの地域）の景観で気になること（今後改善していきたいこと）は何ですか？

景観で気になることについては、「荒地や資材置き場」が約7割と多く、次いで、「緑の不足、大きな樹木等の減少」が約4割である。



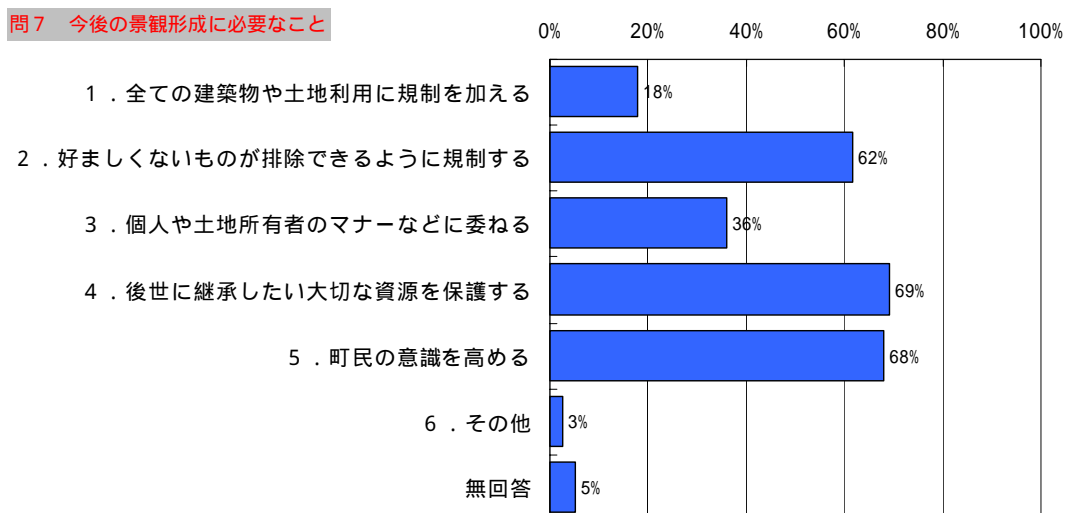
問6 ご自分で、景観や生活環境に取り組まれていること、配慮されていることをご記入下さい。

自由記述形式での回答を大きく分類すると以下の通りとなる。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 敷地内のみどりを増やす、保存する ・ 生垣にし、庭木、屋敷林を多く植えている、保存している ・ 庭や生垣などの緑の手入れ ・ 屋敷の大木の枝おろし ・ 庭のコンクリート舗装や除草剤使用をしない | <ul style="list-style-type: none"> 自宅周辺や地域の清掃、整備 ・ 庭先（道路）の清掃 ・ コモンスペース等の整備 ・ 駐輪場の整備 ・ 自宅周辺の通学路のごみ、不法投棄に対して、日常的な目配り、気配り ・ 農業用水路内や水路脇の清掃等（むらづくり推進協議会） |
| <ul style="list-style-type: none"> 田園や自宅周辺に花を植える ・ 休耕地にポーラチカを植えている ・ 集落と田園との間に芝桜を植えている | <ul style="list-style-type: none"> 空き缶、ゴミなどを拾う 野鳥等の生息環境や風景の保護 ・ 野鳥の保護（休耕地に飛来するシギチドリ） ・ 田畑に飛来するタカ、小鳥の風景 ・ 水路の確保（水生生物等） |
| <ul style="list-style-type: none"> 地域の大切なみどりを皆で保存、管理する ・ 沼や公園の整備 ・ 野鳥の住める樹林、田園の確保 ・ 神社の森等の維持管理や整理整頓 | |

問7 今後の景観形成に必要なことは何だと思いますか？

今後の景観形成に必要なことについては、「後世に継承したい大切な資源を保護する」、「町民の意識を高める」が約7割を占めており最も多く、次いで「好ましくないものが排除できるように規制する」が約6割と多い。



意見交換のまとめ

【全地区】

良いところ

水田、集落、山々等による田園集落の眺め

- ・ まとまりのある農地、緑豊かな集落など、広大な田園風景の眺め（河川の堤防などの小高い場所からの眺めや、集落から河川沿いの堤への眺め等）が良い。
- ・ 田園集落越しに見える赤城山、日光、富士山、筑波山等が眺められる。
- ・ 至るところから夕日がきれいに見える。
- ・ 権現沼や海老瀬川やその周辺の里山の風景が良い。

多種多様な動植物等による豊かな自然環境・

水辺

- ・ ヤナギや大い草など、多種多様な植物の群生が見られる。
- ・ 谷田川沿いなどの桜並木がきれい。
- ・ 流通団地の整備でできた川辺の公園が良い。
- ・ 板倉は野鳥の宝庫であり、水田や遊水池は、渡り鳥の飛来地（中継地）となっている。

ニュータウンの整ったまち並み

- ・ ニュータウンは、道が広く、街路樹もあり、まち並みが良い。

自然護岸による河川の景観

- ・ 沈下橋やヤナギ山、川田など、人工物が無い、自然の水辺の風景が良い。
- ・ 谷田川は散策している人も多い。

神社やその周辺の樹林等の歴史を感じさせる

景観

- ・ 雷電神社や西丘神社や二本松などの歴史のある資源は後世に受け継いでいきたい。

- ・ 社寺を守ることは基本だと思う。
- ・ 雷電神社の昔の参道や大鳥居は風情があって良い。松を植えても良いのではないかな。

気になるもの

大切な資源の周辺にある電波塔や荒れ地等

- ・ 農地や神社などそばに、電波塔や中継局、電柱などがあると気になる。（大きさや色など）
- ・ 農地のそばにゴミや残土置き場があると気になる。

敷地内の緑の減少

- ・ 高木や防風林や生け垣の維持管理が大変で、建て替え等の際に伐採されたり、ブロック塀等が変わったりしている

空き地や休耕田、農道等の管理

- ・ 農道（あぜ道）が除草されていない。
- ・ 休耕田の管理や荒れ地の改善（草地の管理など）が必要。
- ・ 街路樹や桜並木などは良いが、管理が不十分で枝や草が茂っているものが見られる。
- ・ 空き家となった家の雑草等の管理が必要。
- ・ 手入れをされておらず、雑草が茂っている農村公園や空き家などは使われていない。

活気が無くなった通り

- ・ 旧古河往還は、バイパスができて車の往来やお店が減り、活気が無くなった。

河川の水質の悪化や手入れが不十分な河川敷

- ・ 川にゴミが多く、水質も良くない。
- ・ 川辺の草地の管理が不十分なところが

ある。

自然の用水路等の減少

- ・ コンクリート護岸の農業用水が増えて
いる。

良いもの等のPR不足

- ・ 良いものをPRする。情報発信が不十分
で知らない場合が多い。

張りになっているものがある。機能面ばかり
ではなく、歴史性を重んじた整備とすべ
きではないか

荒れ地や堆積物について

- ・ これらは景観的にも良くないし、営農環境
の維持の面でも大切。休耕田等の対策を行
い、美しい田園風景を維持したい。

今後の景観づくりに対する意見

地域で取り組むことについて支援をして欲しい

- ・ 数名で芝桜を植えているが、集落全体の取
り組みに発展させたい。周りの人を巻き込
むためには、行政のサポートがあるのが良
い
- ・ 里山の保全活動を行っている。管理用の機
械を町から借用しているが、活動費に対す
る何らかの支援が欲しい

水辺を快適な空間に整備して欲しい

- ・ 河川内を快適に歩ける
- ・ ベンチなどの施設を整備する

大切な資源の保全方策について

- ・ 巨木等のシンボルとなっている緑につい
ては、何らかの支援があると保全できる可
能性が広がる（他都市で取り組んでいる助成
制度や固定資産税の減免措置等）

景観を維持することについて

- ・ まちの景観は基本的には良い。緑をはじめ、
管理を適切に行う、拠点となる施設（水郷
公園等）の管理を行い、快適な状態とする
ことが大切
- ・ 町民の景観に対する意識を高め、地域で管
理するためには、行事（イベント）を開催
することで気づくことが期待できる。その
意味でも古くからの祭りや行事を大切にす
ることが必要

歴史性への配慮

- ・ 江戸時代からの用水路などがコンクリート